

目録 List

鳥取県・島根県の動物相に関する
文献目録 第5集 (2013年)鶴崎展巨¹・淀江賢一郎²¹〒680-8551 鳥取市湖山町南4-101

鳥取大学地域学部生物学研究室

E-mail: ntsuru@rs.tottori-u.ac.jp

²〒690-0862 松江市比津が丘2-1-7

E-mail: shimane@sc4.so-net.ne.jp

¹ Nobuo TSURUSAKI and ² Ken-ichiro YODOE (¹ Laboratory of Biology, Faculty of Regional Sciences, Tottori University, Tottori, 680-8551 Japan; ² Hizugaoka 2-1-7, Matsue, 690-0862 Japan): **Bibliography concerning fauna of Tottori and Shimane Prefectures, Honshu, Japan. No. 5 (2013).**

キーワード — 島根県, 鳥取県, 動物相, 記録, 文献目録

Abstract — This bibliography comprises literature on the fauna of the San'in District (Tottori and Shimane Prefectures of Hoshu) published in 2013. Some articles published before 2013 may be also included when they have not been covered in the previous bibliographical series.

Key words — bibliography, fauna, faunal records, Tottori Prefecture, Shimane Prefecture, San'in District

鳥取県と島根県の動物相に関して2013年に出版された文献のリストである(前報までに掲載もれの2012年以前の文献も含む)。最後に付録として、両県内をタイプ産地として記載された動物のリストを掲げる(今回は島根県からの3種。うち2種は2006年に記載分の掲載もれ)。

文献入手または文献情報収集にご助力をいただいた林成多, 山内健生, 田村昭夫, 川上 靖, 島田 孝, 山田 勝の諸氏に御礼申し上げる。

凡 例

採録範囲は、おもに鳥取県・島根県内の陸上域(沿岸の海域を含む)に生息する動物に関する記録を含む文献であるが、本県に密接な関係があると思われるものは県外のものも対象としている。配布範囲が狭いなどで、最初から正式公表を目的としたとは考えにくい記事(観察会で配布されるプリント, 内部的報告書, 大学のサークル・学校のクラブ

等の部内機関誌に掲載されたもの)も原則として扱わない。

鳥取県内での初記録など動物相解明の点でとくに必要と思われるものを別として、短報やそれに類した簡略化された記録(野鳥の出現情報など)も、積極的には拾っていない。

配列は分類群ごとの(総合/哺乳類/鳥類/両生・爬虫類/魚類/昆虫:総合/昆虫:トビムシ目/昆虫:トンボ目/昆虫:直翅類/昆虫:半翅目/昆虫:鞘翅目/昆虫:双翅目/昆虫:鱗翅目/昆虫:膜翅目/クモガタ類/甲殻類/軟体動物/その他の無脊椎動物), 著者のアルファベット順である。どちらの県に関係するかは、個々の文献の末尾に角っこ([])内に記す。市販されているものについては価格を記した。スラッシュ(/)以下は要旨あるいはコメントである。

NT = 鶴崎展巨, KY = 淀江賢一郎。

【総 合】

小林一彦(文)・小林京子(編)(2013) 4年間女子大学生に書き送った160通の手紙から。総合印刷株式会社(鳥取市), 327 pp. 鳥取県の自然保護, 昆虫, 野鳥, 植物など広範囲にわたって影響力のある足跡を残し2006年に逝去された小林一彦氏が昭和36~40年にかけて三村京子氏あてに送った書簡集。生物の具体的な記録を含むわけではないが、この間の同氏の山行(多くは鳥取県内)の記録がかなり豊富にみられ、当時の鳥取県内の自然環境や山へのアクセス状況が垣間見える。[鳥取]

児島 良(2012) 湖山池を知ろう。~池の概要と生息魚類・漁業・水質について~。湖山学編集委員会(編) 湖山の歴史と文化。霞の里。湖山地区自治会・湖山地区公民館, 71 pp.17-36。[鳥取]

越川敏樹・林 成多・三浦憲人(2013) ホシザキグリーン財団環境修復事業報告: うしおの沢池の環境再生(1年目)。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 318-326。/雲南市大東町のうしおの沢池で確認された魚類, 水生昆虫などの記録がある。[島根]

鶴崎展巨(2013) 鳥取・湖を強引に汽水化。希少種も危機に。自然保護, No. 535, p. 22。/日本自然保護協会発行の本誌のNewsハイライト欄での、2012年3月の湖山川水門開放による湖山川高塩分化事業の問題点とカラスガイなどの絶滅についての説明。[鳥取]

鶴崎展巨・淀江賢一郎(2013) 鳥取県・島根県の動物相に関する文献目録 第4集(2012年)。山陰自然史研究, No. 9, pp. 15-21。[鳥取・島根]

【哺乳類】

林 成多・片岡大輔・剣持康弘(2013) 島根県雲南市木次町ふ

るさと尺の内公園における哺乳類生息調査(2011年) . ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 1-12. / 雲南市木次町ふるさと尺の内公園からの哺乳類9種の記録. [島根]

一澤 圭(編)(2013)平成25年度 鳥取県立博物館企画展. サルとヒト展 展示解説書., 鳥取県立博物館, 58 pp. / pp. 26-27にトピックスとして, 「とつとりとサル学—伊谷純一郎博士の軌跡—」と題する解説記事あり. 鳥取生まれの伊谷純一郎博士(1926-2001)の業績と鳥取県とのゆかりについて解説されている. [鳥取]

片岡大輔(2013)鳥根県雲南市木次町でアライグマを確認. ホシザキグリーン財団研究報告, No.16, p. 94. [島根]

Kirihara, T., Shinohara, A., Tsuchiya, K., Marada, M., Kryukov, A. P. & Suzuki, H. (2013) Spatial and temporal aspects of occurrence of *Mogera* species in the Japanese Islands inferred from mitochondrial and nuclear gene sequences. *Zoological Science*, 30: 267-281. / ミトコンドリア遺伝子(Cytochrome b)と核遺伝子(A2ab, Bmp4, Tcf25, vWf)の塩基配列に基づく日本列島のモグラ属の進化史. 鳥取市, 米子市, 鳥根県隠岐のサンプルが使用されている. これら3地点は広島県比和から石川県松任市までの本州と四国東北部とともにチトクロームb遺伝子で区別されるクラスター Mwo-I に属する. 太田川—高津川ライン以西の広島県戸河内と山口県は九州と同じMwo-IIIに入る. [鳥取・島根]

小林朋道(2013)ニホンモモンガ *Pteromys momonga* 成獣による巢内同居の誘発, 鳥取県立博物館研究報告, No. 50, pp. 55-59. / 鳥取県智頭町芦津溪谷での調査. 巢内同居は寒さから身を守るためと考えられるとのこと. [鳥取]

野津幸夫・東常哲也・岡本宗祐・増本育子(2013)鳥取県におけるミズラモグラの新産地. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 95-101. / 鳥取県大山(鍵谷峠と木谷の間の谷:特別保護区に入っている)からのミズラモグラの記録. 2011年5月25日1♂死体. 本種の大山からの確認は初めてである. なお, レッドデータブック等の引用で文献の著者名を, 鳥根県, 鳥取県, 山口県等とするのは誤りである. たとえばレッドデータブックとつとり改訂版の場合であれば, 「岡田珠美・一澤 圭(2012)ミズラモグラ. p. 24. In: 鳥取県生物学会(編)レッドデータブックとつとり改訂版. 337 pp. 鳥取県生活環境部公園自然課」という具合に引用していただきたいところである. (NT) [鳥取]

【鳥 類】

林 成多・野津登美子(2013)鳥根県邑南町におけるブッポウソウの野外調査と巣箱内の昆虫遺骸調査. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 131-140. / 鳥根県邑南町和田

におけるブッポウソウの調査での餌昆虫の確認. 甲虫類のほかトンボ類やハタタキ類, セミ類なども捕獲していることを確認. [島根]

銀杏羽編集部(2013)特集 湖山池の野鳥たち. 銀杏羽(NPO 法人日本野鳥の会鳥取県支部), pp. 8-12. / 野鳥の生息地としての湖山池の過去の状況や, 探鳥会で記録されている種が載せられている. [鳥取]

桐原佳介・保木本二郎・高橋秀彰(2013)鳥取県日野郡日野町におけるヨタカの繁殖記録. 山陰自然史研究, No. 9, pp. 10-11. [鳥取]

森 茂晃(2013)隠岐周辺海上におけるアカアシカツオドリの記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, p. 78. [島根]

中村一恵(2013)日本列島におけるセキレイ属近縁2種の分布変遷と種分化. 神奈川県立博物館研究報告 自然科学, No. 42, pp. 71-90. / セグロセキレイとハクセキレイの日本列島における分布変遷の詳細な記録. ハクセキレイの1930年代, 1955年, 1980年の繁殖確認の分布地図, 1997-2000年の繁殖確認の分布図があり, ハクセキレイの分布域が南下したことがよくわかる. 鳥取県, 島根県の記録も拾われている. セグロセキレイはこれまで考えられてきたように日本固有種ではなく, 日本海をはさんで大陸側にも分布域がある(つまり環日本海要素である)との指摘がある. 残念ながら, この説明のための図はまったくわかりやすすくない. (NT) [鳥取・島根]

【両生・爬虫類】

藤田宏之・寺岡誠二(2013)鳥根県におけるニホンシガメの保全の必要性. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 309-313. [島根]

林 成多(2013)隠岐諸島西ノ島の高崎山でオキタゴガエルを撮影. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 8, p. 110. / 隠岐諸島西ノ島高崎山でのオキタゴガエルの確認. [島根]

内藤順一(2009)船通山でカスミサンショウウオ高地型の越冬幼生と成体と卵囊を確認. 比婆科学, No. 232, pp. 27-28. [島根]

内藤順一(2009)船通山でハコネサンショウウオの幼生を確認. 比婆科学, No. 232, p. 27. [島根]

寺岡誠二(2013)浜田市で発見されたアルビノのジムグリ(有鱗目ナミヘビ科). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 211-213. [島根]

寺岡誠二(2013)出雲市で発見されたアルビノのカジカガエル幼生. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, p. 214. [島根]

寺岡誠二(2013)出雲市で発見されたアルビノのヤマアカガエル幼生. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 215-217. [島根]

山田 勝(2007)鳥取県の山中でタカチホヘビを確認. しぜんくら

しき, No. 60, p. 15. / 鳥取県智頭町智頭地内で2006.9.9タカチホヘビを確認。[鳥取]

山田 勝 (2013) 鳥取県三朝町でタカチホヘビを確認。しぜんくらしき, No. 86, p. 16. / 鳥取県三朝町でのタカチホヘビの生息確認記録 (2012.7.15)。地名が三朝町までしか表記されていないが, 著者からご教示いただいたところによると, 三朝町大字木地山地内 (国道すぐ右側 (東側) の人工林内-国道からわずか50 mくらい立ち入った場所) とのこと (山田氏私信)。 (NT) [鳥取]

【魚 類】

平山琢郎・梅村嘉雄・久保誠一 (2012) 江の川水系の淡水魚類。比婆科学, No. 244, pp. 7-49. / 江川水系の淡水魚50種の詳細な分布。[島根]

越川敏樹 (2013) 中海におけるウキゴリ属魚類の出現状況。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 263-270. [島根]

Nakajima, J. (2013) Taxonomic study of the *Cobitis striata* complex (Cypriniformes, Cobitidae) in Japan. Zootaxa, No. 3586, pp. 103-130. / スジマドジョウの分類学改訂。亜種を含め9新型 (4新種) を含む。スジマドジョウ山陰小型種は, *Cobitis minamorii saninensis* Nakajima 2013サンインコガタスジマドジョウ (和名は2013.2.1発表の環境省の汽水・淡水性魚類のレッドリストより) として記載。本種の材料としては, 鳥取県の鳥取市, 気高町, 北栄町, 南部町, 島根県の出雲市の材料が使用されている。タイプ産地は斐伊川。[鳥取・島根]

さかなクン・中谷英明 (2013) さかなクンの山陰海岸ギョギョ図鑑。今井出版 (米子市) 48 pp. / 950円 [鳥取]

Sakai, H., Hatama, T., & Iwata, A. (2012) A rare freshwater goby *Odontobutis hikimius* collected from the Nishiki River flowing down the southern slope of the drainage divide opposite to the Takatsu River, the type locality. Biogeography, 14: 19-24. / 2002年に高津川水系をタイプ産地として記載されたインドコ *Odontobutis hikimius* Iwata et Sasaki, 2002 (島根県西部-山口県東部の日本海側斜面に分布) を高津川水系とは反対側の錦川水系 (岩国市で瀬戸内海に流入) でも確認。[島根]

田中善蔵 (2013) 樗谷叢書第5集。湖山池の石がま漁。寒ブナ漁の伝統漁法。鳥取市歴史博物館やまびこ館 (鳥取市), 163 pp. / 860円 [鳥取]

【昆虫: 総合】

林 成多 (2013) 島根県東部と鳥取県西部の湿岩に生息する水生昆虫調査。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 301-308. / 島根県東部と鳥取県西部の湿岩 (滝の飛沫な

どでつねに湿っている岩) に生息する水生昆虫調査 [鳥取・島根]

林 成多・坂井 誠 (2013) 島根県飯南町頓原の大万木山で採集した昆虫類の記録。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 315-317. / 島根県飯南町頓原の大万木山から165種の昆虫記録。[島根]

林 成多・門脇久志 (2013) 鳥取県大山の水生昆虫。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 10, pp. 45-89. / 鳥取県大山の水生昆虫7目35科181種の記録 (文献記録も含む)。多くの種について, カラーでかつ精細な標本写真を掲載。生態写真も掲載。[鳥取]

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ)。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 8, pp. 1-73. / 2009-2012年に隠岐諸島で調査した昆虫730種の記録。33種は隠岐諸島新記録。[島根]

林 成多・野津登美子 (2013) 島根県邑南町におけるブッポウソウ巣箱内の昆虫遺骸調査。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 121-130. / 島根県邑南町和田のブッポウソウ巣箱の昆虫遺骸 (多くは餌動物の遺骸とみられる) の同定結果。コガネムシ類とヤマアリ亜科が多く観察された。[島根]

【昆虫: トビムシ目】

田中真悟 (2013) アオイボトビムシ属の採集記録と分布。比婆科学, No. 247, pp. 13-25. アオイボトビムシ属の国内の記録がまとめられている。鳥取県ではチョウセンアオイボトビムシ (白兔海岸, 日南町新屋) とオオアオイボトビムシ (日南町新屋), ヤマトアオイボトビムシ (日野町下菅) の記録が含まれる。またデータは掲げられてないが, 分布図には鳥取県・島根県ともに, チョウセンアオイボトビムシのプロットがみえる。[鳥取・島根]

【昆虫: トンボ目】

藤田孝壽・田中宏卓・川上 靖 (2013) 鳥取市樗谿におけるムカシヤンマ (トンボ目ムカシヤンマ科) の個体数推定の試み。山陰自然史研究, No. 9, pp. 7-9. [鳥取]

國本洗紀 (2013) 鳥取県中部地区のトンボ5種の新産地。ゆらぎあ, No. 31, p. 47. / ヤマサナエ, オジロサナエ, ヒメサナエ, ヨツボシトンボ, ヒメアカネの倉吉市での2013年の採集記録。[鳥取]

長瀬 翔 (2013) 神戸川でナゴヤサナエの幼虫を採集。すかしば, No. 60, p. 50. / 出雲市馬木町神戸川での2013年のナゴヤサナエの記録。これまで神戸川では記録されていなかった。[島根]

野津幸夫 (2013) ゲンバイトンボを江の川水系濁川で採集。すかしば, No. 60, p. 43. / 邑智郡川本町挽谷 (2012.7.9, 1♂)。

[島根]

野津幸夫(2013)浜田市雲月山でヒメクロサナエ, ムカシヤンマ, ミヤマアカネを確認。すかしば, No. 60, p. 43. / 浜田市旭町坂本の雲月(うつつき)山での3種の記録。ヒメクロサナエ(2012.7.8, 1♀), ムカシヤンマ(2012.7.8, 1♀), ミヤマアカネ(2012.9.9, 1♀)。[島根]

大浜祥治(2013)鳥取県初記録のタイワンウチワヤンマを境港市で採集。すかしば, No. 60, p. 42. / 境港市中浜緑地(2012.8.13, 1♂), 松江市大垣町室屋池(2012.8.3, 数♂), 松江市大垣町円木池(2012.8.16, 1♂)。境港市のものは県初記録。当地ではムスジイトンボなども発生。[鳥取]

坂田国嗣(2013)安来市でハッチョウトンボの発生確認。すかしば, No. 60, p. 35. / 安来市九重町内の谷間奥の休耕田でのハッチョウトンボの発生確認(2012.5.30) [島根]

【昆虫:直翅類】

林 成多(2013)ウスグモズズを出雲市園町の宍道湖グリーンパークで確認。すかしば, No. 60, pp. 41-42. / 島根県宍道湖グリーンパークでのウスグモズズの記録(2012.7.22幼虫。2012.8.15成虫確認)。当地では前年には確認されておらず, 2012年から個体数が増えたと推測。[島根]

林 成多・門脇久志(2013)隠岐諸島産直翅系昆虫類(昆虫綱多新翅亜節)の目録。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 8, pp. 75-90. / 隠岐諸島の直翅系昆虫128種の記録。固有種は見つかっていないとのこと。[島根]

松井悠樹・小林佳崇(2013)鳥取県内保管のヒョウノセンクチキウマ。ゆらぎあ, No. 31, pp. 12-13. / 氷ノ山と智頭町芦津溪でのヒョウノセンクチキウマ(カマドウマ科)の採集記録。[鳥取]

中野浩史(2013)隠岐諸島の中ノ島でヒメカマキリとヒナカマキリを確認。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 8, p. 74. / ヒナカマキリは中ノ島では新記録。[島根]

大浜祥治(2013)鳥取県東部におけるシブイロカヤキリとクツワムシの分布状況調査。すかしば, No. 60, pp. 47-48. [島根]

田村昭夫(2013)ワモンゴキブリ鳥取県に産す。ゆらぎあ, No. 31, pp. 48-49. / 鳥取県未記録のワモンゴキブリの三朝町山田(2013.6.27)からの記録。[鳥取]

田村昭夫・内野嗣昭・市村 綾(2013)バッタと遊ぼう!! ~バッタ釣をしよう~。ゆらぎあ, No. 31, pp. 45-46. / 倉吉博物館での自然ウォッチングのようすの記録。[鳥取]

【昆虫:半翅目】

Damgaard, J., Figueiredo Moreira, F. F., Hayashi, M., Weir, T. A., & Zettel, H. (2012) Molecular phylogeny of the pond treaders (Insecta: Hemiptera: Heteroptera: Mesovelidae), discussion of the fossil record and a checklist

of species assigned to the family. *Insect Systematics & Evolution*, 43: 175-212. / ミズカメムシ科(アメンボ下目)の代表種の分子系統。出雲市坂浦産のウミカメムシ *Speovelia maritima*が材料に使用されている。ウミズカメムシはミズカメムシなどが含まれる *Mesovelia* 属に認められた2系統群のうちの一つの中に位置づけられているがブーツストラップ値が高いわけではない。[島根]

林 成多(2013)鳥取県雲南市木次町ふるさと尺の内公園のキジラミとコナジラミ。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 87-93. / 雲南市木次町ふるさと尺の内公園からのキジラミ22種, コナジラミ11種の記録。[島根]

林 成多(2013)鳥取県出雲市園町宍道湖グリーンパークのキジラミとコナジラミ。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 79-86. / 出雲市園町宍道湖グリーンパークからのキジラミ19種, コナジラミ8種の記録。[島根]

林 成多・松田隆嗣(2013)鳥取県松江市におけるトコジラミの記録。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, p. 206. / 松江市学園の建物内の床を歩いていたトコジラミの記録。[島根]

Higuchi, T. & Okudera, S. (2013) Three new species of the *protecta*-group in the genus *Pagaronia* Ball (Hemiptera, Cicadellidae, Evacanthinae) from western Honshu, Japan. *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 19: 119-128. / 中国地方西部のヨコバイ科Evacanthinaeの3新種(*Pagaronia hagiensis*, *P. curvispina*, *P. ohgii*)の記載。これらは山口県内できれいに異所的。鳥取県にはこのうち *P. curvispina*が鳥取県西部の広範囲で記録されている。[島根]

星川和夫(2013)西中国山地のコオイムシ。すかしば, No. 60, pp. 40-41. / 鳥取県吉賀町阿津集落の水田でのコオイムシの記録(2012.8.5)。多数生息。[島根]

松田隆嗣(2013)鳥取県でのクマゼミの確認例。すかしば, No. 60, p. 48. / 松江市, 出雲市, 益田市での鳴き声確認(2011-2012)。[島根]

尾原和夫(2013)畑でセミの幼虫を掘り出す。すかしば, No. 60, p. 40. / 鳥取県大田市久手波根町の海岸近くの砂地でニイニゼミ4齢幼虫と思われる個体。[島根]

田村昭夫(2013)アカスジキンカメムシの採集記録。ゆらぎあ, No. 31, pp. 48-49. / 鳥取市佐治町辰巳峠(2008.9.27)と倉吉市打吹公園(2013.10.18)でのアカスジキンカメムシの採集記録。[鳥取]

田村昭夫・山脇清高(2013)鳥取県におけるセミの色彩変異。月刊むし, No. 511, pp. 35-38. [鳥取]

吉富博之・安達修平(2013)鳥取県のアブラムシ。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 219-240. / 鳥取県産アブラムシ134種の記録。[島根]

【昆虫:脈翅目】

- 林 成多 (2013) 鳥根県と鳥取県西部のアリジゴク. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 189-205. / 鳥根県と鳥取県西部からウスバカゲロウ科昆虫11種を記録. 各種の幼虫の写真と分布図あり。
- 林 成多・門脇久志 (2013) 鳥取県大山のウスバカゲロウ科. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 10, pp. 19-25. / 鳥取県大山のウスバカゲロウ科10種の記録 (文献記録も含む)。多くの生態・標本写真を掲載。ブナ帯に多いのはウスバカゲロウとモイワウスバカゲロウの2種だそう。
- 市川 顕彦 (2013) 中国地方の脈翅類 (第2報). 比婆科学, No. 247, pp. 7-12. 次の種に鳥根県の記録が含まれる: ツマモンヒロバカゲロウ, シロタエヒメカゲロウ, コチャバナヒメカゲロウ, ヨツボシクサカゲロウ, フタモンクサカゲロウ, クロヒゲフタモンクサカゲロウ, ヤマトクサカゲロウ。次の種に鳥取県の記録が含まれる: キマダラヒロバカゲロウ, チャバナヒメカゲロウ, イツホシアカマダラクサカゲロウ。

【昆虫:鞘翅目】

- Hayashi, M. (2013) Description of larva and pupa of *Graphelmis shirahatai* (Nomura) (Coleoptera, Elmidae). *Elytra*, Tokyo, New Series, 2: 53-63. / 水生甲虫のヒメドロムシ科アヤズジミゾドロムシの幼虫, 蛹, 生態的知見の記録。採集地・調査地は鳥根県。[鳥根]
- Hayashi, M., Song, S. D. & Sota, T. (2013) Patterns of hindwing degeneration in Japanese riffle beetles (Coleoptera: Elmidae). *Eur. J. Entomol.* 110: 689-697. / 日本産のヒメドロムシ科甲虫12属23種についてミトコンドリアのCOI遺伝子と核の28S rRNA遺伝子にもとづき分子系統樹を作製し, 本科にみられ後翅の退化がいろいろな系統で何度も進化していることを明らかにした。後翅の退化について2型を示す種は中流・下流域に生息しヨシや材を基質とする種にみられた。後翅の退化を示す種は全体の29%で, 温帯域に生息する甲虫のそれ (10%以下) と比較して高い。材料に鳥根県・鳥取県から採集された標本が多く含まれている。[鳥根・鳥取]
- 林 成多 (2013) 止水性の特異なヒラタドロムシ — ホンシュウチビヒゲナガハナノミ. 昆虫と自然, 48(4): 4-7. / チビマルヒゲハナノミに酷似したホンシュウチビヒゲナガムシを鳥根県木次町ふるさと尺の内公園で採集。両者の成虫・幼虫の区別, 生態, 分布の違いなどを解説。[鳥根]
- 林 成多 (2013) 鳥根県の海岸性甲虫. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 9, pp. 1-98. / 鳥根県の海岸性で記録されている海岸性および広生息の主要な甲虫111種が, 特徴, 生態, 県内分布, 文献記録とともにまとめられている。うち,

14科64種は海浜性種。ほぼ全種に, 美しく大きい標本写真が掲げられている。よく似た種は並べて識別点が記されており, 同定の手引きとしてきわめて有用。甲虫以外の昆虫についても, 生態写真が掲げられている。(NT) [鳥根]

- 林 成多・門脇久志 (2013) 鳥取県大山のシテムシ科. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 10, pp. 1-6. / 鳥取県大山のシテムシ科甲虫10種の記録 (文献記録も含む)。調査らによる2004年からの調査で得られた9種のカラーでかつ精細な標本写真を掲載。[鳥取]
- 林 成多・門脇久志 (2013) 鳥取県大山のナガハナノミダマシ科. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 10, pp. 15-17. / 鳥取県大山のナガハナノミダマシ科甲虫2種の記録 (文献記録も含む)。カラーでかつ精細な標本写真を掲載。生態写真も掲載。[鳥取]
- 林 成多・門脇久志 (2013) 鳥取県大山のベニボタル科. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 10, pp. 27-35. / 鳥取県大山のベニボタル科甲虫27種の記録 (文献記録も含む)。調査で採集された全種について, カラーでかつ精細な標本写真を掲載。生態写真も掲載。[鳥取]
- 林 成多・門脇久志 (2013) 鳥取県大山のホタル科とホタルモドキ科. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 10, pp. 7-13. / 鳥取県大山のホタル科7種, ホタルモドキ科3種の甲虫の記録 (文献記録も含む)。調査で採集された全種について, カラーでかつ精細な標本写真を掲載。生態写真も掲載。[鳥取]
- 林 成多・門脇久志 (2013) 鳥取県大山のジョウカイボン属. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 10, pp. 37-44. / 鳥取県大山のジョウカイボン科ジョウカイボン属甲虫13種の記録 (文献記録も含む)。調査で採集された全種について, カラーでかつ精細な標本写真を掲載。生態写真も掲載。[鳥取]
- 林 靖彦 (2006) 隠岐新記録のハネカクシ. ねじればね, No. 17, pp. 10-11. / 隠岐島後大満寺山からのハネカクシ11種の記録。[鳥根]
- 井ノ上 健 (2013) 大山及び倉吉市のカミキリムシ数種の雑記録. ゆらぎあ, No. 31, pp. 41-43. / ホソカミキリ, ベーツヒラタカミキリ, コバナカミキリ, ヤノラカミキリ, ニイジマトラカミキリ, スギノアカネトラカミキリ, ホソツヤヒゲナガコバナカミキリ, ダイセンセダカコブヤハズカミキリ, ヨコヤマヒゲナガカミキリ, ハンノオオツリカミキリ, フタスジカタピロハナカミキリ, スネケブカヒロコバナカミキリ, ヒラヤマコブハナカミキリ。[鳥取]
- 久保田耕平・久保田典子・永幡嘉之・乙部 宏 (2012) 近畿地方北部におけるトウカイコリクワガタ近畿亜種とニシコリクワガタ基亜種 (コウチュウ目クワガタムシ科) の分布. 日本生物地理学会会報, 67: 117-120. 兵庫・京都北部, 福井県西部におけるトウカイコリクワガタ近畿亜種 *Platycerus takakuwai akitai* Fujita 1987 とニシコリクワガタ基亜種

- Platycerus viridicuprus viridicuprus* Kubota et al. 2008の分布。ニシコリクワガタ基亜種が北側、トウカイコリクワガタ近畿亜種が南側に側所的。分布境界の滋賀・京都県境付近のおにゅう峠南方では混棲地が見つかった。鳥取県の記録は含まれないが、近接地の分布状況が詳しく掲載されているので、参考までに拾った。
- Kubota, K., Nagahata, Y., Ikeda, H., Kubota, N., Otake, H., Umetsu, K. (2011) Diversification process of stag beetles belonging to the genus *Platycerus* Geoffroy (Coleoptera: Lucanidae) in Japan based on nuclear and mitochondrial genes. *Entomological Science*, 14: 411-427. / ルリクワガタ。コリクワガタの仲間のミトコンドリアCOI遺伝子と核遺伝子の系統解析。鳥取県1地点(大山)、島根県4地点(隠岐大満寺山、横尾山、三瓶山、寂地山)の集団が含まれる。コリクワガタでは中国地方の集団はいずれもキンキコリクワガタ*Platycerus viridicuprus*であるが、隠岐の集団は大山といっしょに近畿地方北部のキンキコリクワガタのクレードに、三瓶山以西の集団は九州北部の集団と同じクレードに含まれる。オオルリクワガタ*Platycerus delicatulus delicatulus*では中国地方内でのクレード分化が認められなかった。
- 國本 洸紀(2013) シロオビアカアシナガゾウムシの分散について。ゆらぎあ, No. 31, pp. 6-12. / 2013年5月に倉吉市打吹公園のアジサイへの加害が確認されたシロオビアカアシナガゾウムシ(ゾウムシ科)(鳥取県中部では初記録)の分布と由来についての考察。分布調査で生息が確認された地点として鳥取市桑原、岡山県鏡野町赤和瀬もあげられている。ヤマアジサイでも確認。[鳥取]
- 松田隆嗣(2013) 島根県におけるヒメビロウドカミキリの記録。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, p. 210. / 島根県高津川流域におけるヒメビロウドカミキリの記録。[島根]
- 松井悠樹・田村昭夫(2013) シリプトジョウカイの一種(*Yukiooa* sp.)の雌を氷ノ山にて採集。ゆらぎあ, No. 31, pp. 20-21. / オンズシリプトジョウカイの可能性が高いが雌のため同定保留のシリプトジョウカイの一種の氷ノ山からの記録。[鳥取]
- 長瀬 翔(2013) 島根県では記録の少ないハラグロオオテナントウを採集。すかしば, No. 60, p. 49. / 益田市梅月町(2013.5.5), 出雲市所原町(2013.5.6) [島根]
- 中村慎吾(2013) 比和自然科学博物館に新たに収蔵されたタマムシ類。比婆科学, No. 245, pp. 25-26. / 次の種に島根県産の標本記録がみられる:クワナガタマムシ(邑智町信善, 益田市横田町)。次の種に鳥取県産の標本記録がみられる:ニセシラケナガタマムシ(日南町新屋:中国地方初記録とのこと), コウゾチビタマムシ(日南町新屋)。[鳥取・島根]
- 野津幸夫(2013) クリストフトラカミキリの採集記録。すかしば, No. 60, pp. 48-49. / 松江市八雲町天狗山頂(2003.5.2)。鳥取県伯耆町(2012.5.5, 2013.5.5)。[島根]
- 野津幸夫(2013) ナガヒゲナガゾウムシの追加記録。すかしば, No.60, p. 49. / 鳥取県大山文珠堂(2012.7.15) [鳥取]
- 野津幸夫(2013) マダラクワガタ鳥取県の文献記録追加。ゆらぎあ, No. 31, p. 19. [鳥取]
- 野津幸夫(2013) 鳥取県で採集したコガネムシ科数種の分布記録。ゆらぎあ, No. 31, pp. 15-19. / ツノコガネ, マルツヤマグソコガネ, ケブカマグソコガネ, クロオビマグソコガネ, オオキイロコガネ, クロカナブン, ミヤマオオハナムグリ, アオアシナガハナムグリ, オオヒラタハナムグリ(鳥ヶ山)の鳥取県からの記録。[鳥取]
- 小川弘展(2013) 鳥取大学湖山キャンパスにおける外来種オオコゾウムシの記録。山陰自然史研究, No. 9, p. 12. [鳥取]
- 柴田泰利・円山宗利・保科英人・岸本年郎・直海俊一郎・野村周平・Puthz, V.・島田孝・渡辺泰明・山本周平(2013) 日本産ハネカクシ科総目録(昆虫綱・甲虫目), 九州大学総合博物館研究報告, No. 11, pp. 69-218. / 2012年上半期までに記載・記録されている日本産のハネカクシ科甲虫の種のリスト。398属2262種(44亜種)。分布は島単位で記録されており、島根県や鳥取県単位ではわからないが、隠岐諸島についてはOkと記されているので、これを拾うと隠岐諸島でのハネカクシ科の記録はすべて拾える。和名のなかった種についてもすべて新しく和名が提唱されている。[島根]
- 島田 孝(2006) 隠岐諸島のハネカクシ相(甲虫目:ハネカクシ科)。ハネカクシ談話会ニュース, No. 29, pp. 1-5. / 隠岐諸島のハネカクシ相の概要。2006年以前に41種が記録されていたが、さらに49種を新たに記録。[島根]
- 島田 孝・林 靖彦(2006) 隠岐のチビシデムシ、ヒゲトチビシデムシ。ねじればね, No. 17, pp. 11-13. / チビシデムシ科11種の隠岐島後からの記録。[島根]
- 島田 孝・門脇久志・山内健生(2009) 隠岐諸島の糞虫相(甲虫目:コガネムシ上科)。人と自然, No. 20, pp. 93-106. / 1995年および1998-2004年の隠岐諸島での糞虫調査でえられた糞虫類3科26種の記録。うち4種は隠岐諸島新記録。既知記録と合わせると4科34種。本土側と比較すると大型種の欠如が目立つ。牛糞の処理にはカドマルエンマコガネの貢献が大きい。[島根]
- 田村昭夫(2013) クロカタビロオサムシを自宅にて採集。ゆらぎあ, No. 31, pp. 33-34. / 鳥取県では記録が非常に少ないクロカタビロオサムシの倉吉市宮川町からの記録(2013.6.7)。[鳥取]
- Watanabe, Y. & Shimada, T. (2006) Occurrence of *Boreaphilus japonicus* Sharp (Coleoptera, Staphylinidae) on the Island of Dôgo of the Oki Islands off Western Honshu, Japan. *Elytra*, Tokyo, 34: 62. / *Boreaphilus japonicus* Sharp (ハネカクシ科)の隠岐島後からの新記録。[島根]
- Watanabe, Y. & Shimada, T. (2006) On three species of the

genus *Eusphalerum* (Coleoptera, Staphylinidae) from the Oki Islands, West Japan. Japanese Journal of Systematic Entomology, 12: 197-201. / *Eusphalerum*属 ハネカクシ3種の隠岐諸島からの記録。うち2種は新種。ドウゴハナムグリハネカクシ *Eusphalerum* (s. str.) *dogoense* Watanabe & Shimada 2006 (タイプ産地は島後鷲が峰), オキハナムグリハネカクシ *E.* (s. str.) *insulare* Watanabe & Shimada 2006. タイプ産地は両種とも島後鷲が峰。 *Eusphalerum* (s. str.) *japonicum* (Bernhauer)も隠岐諸島新記録。[島根]

【昆虫:双翅目】

- 林 成多・片岡大輔 (2013) 島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園で採集された双翅目 (2012年). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 318-326. / 雲南市木次町ふるさと尺の内公園からの昆虫類37科137種の記録。[島根]
- 柿沼 進 (2013) 島根県のニクバエ科分布記録 (追加と訂正1). すかしば, No. 60, p. 24. / 島根県新記録の3種 (コバネヤドリニクバエ, シリグロヤドリニクバエ, オカザキニクバエ) を追加。[島根]
- 松井悠樹 (2013) トワダオオカを鳥取市にて採集. ゆらぎあ, No. 31, p. 48. / 鳥取市樗谿公園でのトワダオオカの採集記録 (2013.5.15). [鳥取]
- 山内健生・渡辺 護・林 成多 (2013) 島根県のアブ科. 昆虫 (ニューシリーズ), 16: 24-30. / 野外調査および標本調査により島根県から20種のアブを報告。[島根]

【昆虫:膜翅目】

- Maeta, Y., Yoshida, A. (2013) Nesting biology and social structure of a small Caepenter bee, *Ceratina* (*Ceratina*) *megastigmata* (Hymenoptera, Apidae) in South-western Honshu, Japan. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 51-77. / 鳥取県大山の標高700m以上の林縁部のタニウツギの枯茎に営巣するクロツヤハマバチ *Ceratina* (*Ceratina*) *megastigmata* の営巣生態。[鳥取]
- Maeta, Y., Yoshida, A., & Sasaki, Y. (2013) Bionomics and complex social structure of *Lasioglossum* (*Evylaeus*) *affine* in Southwestern Japan (Hymenoptera, Halictidae). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 13-50. / 松江市枕木山での *Lasioglossum affine* (ヅマルコハナバチ) の生活史の調査。[島根]
- 松井悠樹 (2013) 鳥取県におけるスズメバチ3種の記録. ゆらぎあ, No. 31, pp. 37-38. / モンスズメバチ (鳥取市若葉台), ツヤクロスズメバチ (氷ノ山), キオビホオナガスズメバチ (氷ノ山) の採集記録。[鳥取]

- Mitai, K. & Tadauchi, O. (2013) Taxonomic study of the Japanese species of the genus *Sphécodes* (Hymenoptera, Halictidae). Esakia, No. 53, pp. 27-78. / ヤドリコハナバチ属 *Sphécodes* の日本産20種の改訂。次の種に鳥取県と島根県内の記録が含まれる: *Sphécodes amakusensis* Yasumatsu & Hirashima 1951 アマクサヤドリコハナバチ (島根県大社町稲佐浜), *S. nagasei* Mitai & Tadauchi 2013 (新種) ナガセヤドリコハナバチ (パラタイプに鳥取県日野町 Michi-mihara), *S. nippon* Meyer 1922 ニッポンヤドリコハナバチ (島根県三瓶山), *S. nipponicus* Yasumatsu & Hirashima 1951 ヤマトヤドリコハナバチ (島根県), *S. okuyetsu* Tsuneki 1983 オクエツヤドリコハナバチ (鳥取県, 島根県), *S. scabricollis* Wesmaek 1885, ミズホヤドリコハナバチ (島根県), *S. simillimus* Smith 1873 エサキヤドリコハナバチ (鳥取県, 島根県)。以上, 単に鳥取県, 島根県とあるものは地点名やデータは省略されている。[鳥取・島根]
- 野津幸夫 (2013) 松江市枕木山でムネアカアリバチとルリモンハナバチを採集. すかしば, No. 60, pp. 45-47. [島根]

【昆虫:鱗翅目】

- 筆谷憲一 (2013) 蝶たちとの出会いを求めて 山陰および隣接地域2011 ~ 2012年. すかしば, No. 60, pp. 36-37. / 島根県, 鳥取県などのRDB掲載種を含む14種の記録。[鳥取・島根]
- 星川和夫 (2013) オナガアゲハ配偶行動の小観察. すかしば, No. 60, p. 40. / 鳥取県三朝町小鹿溪の沢沿いの林道で2012.6.4のオナガアゲハ配偶行動の観察。[鳥取]
- 犬飼拓展 (2003) 雨の中の宝石—中国地方, 蝶の旅. SPINDA, 23: 10-12. / 三瓶山, 船通山, 匹見町などでヒロオビミドリシジミ, ウラクロシジミなどを採集。[島根]
- 小柳二三夫 (2013) ゴマシジミ異常型を雲南市で採集. すかしば, No. 60, p. 22. / 島根県雲南市吉田町 (2012.8.21) のゴマシジミ。[島根]
- 松田隆嗣 (2013) 松江市街地で採集された蛾類の記録. すかしば, No. 60, pp. 1-16. / 2007-2009年において松江市東奥谷町のコインランドリーの蛍光灯に飛来したガの採集記録。309種。島根県新記録5種, 島根県本土新記録4種を含む。島根県レッドリスト掲載種4種, 環境省レッドリスト掲載種3種を含む力作。[島根]
- 松田隆嗣・野口祐美子 (2013) 松江市でオナガミズアオを採集. すかしば, No. 60, pp. 17-18. / 松江市の数地点からの2010-2011年の本種の確認。卵, 幼虫の各齢のカラー写真が掲載されている。[島根]
- 松井悠樹 (2013) 鳥取県東部で採集した蛾類II. ゆらぎあ, No. 31, pp. 22-33. / 鳥取県東部からのシャクガ科203種の記録。[鳥取]

- 三島昭一(2013) 2月に羽化した綺麗なウラナミシジミ. すかしば, No. 60, p. 28. /スーパーから購入のインゲンマメに入っていた幼虫を出雲市美談町の自宅で飼育したらウラナミシジミが出てきた(2012.2)もの。[島根]
- 三島昭一(2013) アオスジアゲハ, ハンキュー型を出雲市で採集. すかしば, No. 60, p. 26. [島根]
- 三島昭一(2013) アルピノゴマシジミの記録. すかしば, No. 60, p. 30. /仁多郡奥出雲町(2011.7.22)採集個体。[島根]
- 三島昭一(2013) オオムラサキとゴマシジミの奇形を採集. すかしば, No. 60, p. 30. /オオムラサキは仁多郡奥出雲町上阿井呑谷(1961.6.19)。ゴマシジミは広島県比婆郡高野町(1075.7.30)採集個体。[島根]
- 三島昭一(2013) ギフチョウの支脈過多異常型を雲南市で採集. すかしば, No. 60, pp. 25-26. /雲南市木次町(2012.4.8)採集個体。[島根]
- 三島昭一(2013) ギフチョウの支脈過多異常型を大田市で採集. すかしば, No.60, p. 26. /大田市大代町大家(1993.4.17)採集個体。[島根]
- 三島昭一(2013) ギフチョウの斑紋異常型を美郷町で採集. すかしば, No.60, p. 26. /美郷町(2005.4.9)採集個体。[島根]
- 三島昭一(2013) ヒサマツミドリシジミの同列転換個体が羽化. すかしば, No. 60, p. 29. /仁多郡奥出雲町上阿井採卵(2012.6.22羽化)の個体。[島根]
- 三島昭一(2013) ベニシジミの白化異常型を出雲市で採集. すかしば, No. 60, p. 29. /出雲市美談町斐伊川河川敷(2012.5.16)採集個体。[島根]
- 三島昭一(2013) ミヤマカラスアゲハ赤斑拡大個体を川本町で採集. すかしば, No. 60, pp. 26-27. [島根]
- 三島昭一(2013) モンキアゲハ裏面赤斑拡大個体を採集. すかしば, No. 60, p. 29. /出雲市西材木町伊勢谷(1973.8)採集個体。[島根]
- 三島昭一(2013) 隠岐のサカハチチョウの異常型を採集. すかしば, No. 60, p. 29. /隠岐隠岐の島町那久(2012.7.10)採集個体。[島根]
- 三島昭一(2013) 三瓶山でスギタニルリシジミの斑紋異常型を採集. すかしば, No. 60, p. 27. [島根]
- 三島昭一(2013) 島根県西部金城町のヒメシジミとコキマダラセセリを採集. すかしば, No. 60, pp. 27-28. [島根]
- 三島昭一(2013) 島根半島で越冬, 羽化したアサギマダラ. すかしば, No. 60, pp. 28-29. [島根]
- 三島昭一(2013) 裏面の斑紋が消失したルリシジミを出雲市で採集. すかしば, No.60. p. 27. [島根]
- 三島昭一(2013) 裏面の斑紋が拡大したルリシジミを奥出雲市で採集. すかしば, No. 60, p. 27. [島根]
- 三島昭一(2013) ウラギンスジヒョウモン♀を三瓶山で撮影. すかしば, No. 60, p. 25. /三瓶山でウラギンスジヒョウモン(2012.6.14)の記録。[島根]
- 三島昭一(2013) メスグロヒョウモン♀を島根半島で目撃. すかしば, No. 60, p. 25. /出雲市西材木町伊勢谷(2012.9)メスグロヒョウモンの目撃記録。[島根]
- 三島昭一(2013) 発生が遅れたツマキチョウ, ミヤマセセリを6月下旬に採集. すかしば, No. 60, p. 25-26. /仁多郡奥出雲町上阿井呑谷のツマキチョウ, ミヤマセセリの遅い記録。[島根]
- 中臣謙太郎(2013) ブナを食樹とするシャチホコガ. ゆらぎあ, No. 31, pp. 38-40.
- 野津幸夫(2013) 松江市枕木山におけるクロクモヒロズコガとシロテンクロマイコガの記録. すかしば, No.60, pp. 44-45. /枕木山参道石段で採取した広葉樹の細い落枝から発生した2種のガの記録[島根]
- 野津幸夫(2013) 伯耆大山におけるフジキオビの採集と同種に関する若干の観察. ゆらぎあ, No. 31, pp. 1-6. /鳥取県で半世紀ぶり2例目(初回も大山)となるフジキオビ(アゲハモドキガ科)の大山三ノ沢からの記録(1♀, 2013.5.31)。中国地方での本種の記録もレビュー。[鳥取]
- 能美 郷(2013) 2012年の採集記録. すかしば, No. 60, pp. 21-22. /仁多郡奥出雲町鯛ノ巢山のフジミドリシジミ, 奥出雲町上阿井のヒメシジミ, 鳥取県大山豪円山(2012.7.30)のゴマシジミの記録が含まれる。[島根]
- 大庭奉明(2013) ミドリシジミの異常型を種原で採集. すかしば, No. 60, p. 22. /大山町種原のミドリシジミ(2012.7.10)。[鳥取]
- 坂田国嗣(2013) 2012年度・蝶観察記録. すかしば, No. 60, p. 31-34. /島根県と鳥取県を中心に全国各地のチョウ59種の撮影・目撃個体の記録。[鳥取・島根]
- 坂田国嗣(2013) 蝶の異常斑と白化個体. すかしば, No. 60, p. 35. /ベニシジミ(米子市福市日野川堤防, 2008.5.2), ヤマトシジミ(米子市福市日野川堤防, 2006.9.21), エゾミドリシジミ(西伯郡伯耆町横手道, 2010.6.30)。[鳥取]
- 佐々木英之(2013) クロコノマチョウ越冬成虫の記録. ゆらぎあ, No. 31, pp. 47-48. /クロコノマチョウの伯耆町大内での記録(2013.6.23)。[鳥取]
- 佐々木英之(2013) 自宅の隣家でクロマダラソテツシジミを観察. ゆらぎあ, No. 31, pp. 13-15. /2013年10月の境港市と米子市でのクロマダラソテツシジミの発生記録。[鳥取]
- 佐々木英之(2013, 鳥取県西部の低山地におけるオオヒカゲの観察例. ゆらぎあ, No. 31, pp. 35-36. /鳥取県南部町の湿地でのオオヒカゲの採集記録(2010年)。[鳥取]
- 田村昭夫(2013) 2月にモンシロチョウ目撃. ゆらぎあ, No. 31, pp. 50-51. [鳥取]
- 田村昭夫(2013) スカシサンを大山横手道で採集. ゆらぎあ, No. 31, p. 50. /約50年ぶりとなるスカシサン(カイコガ科)の大山からの記録(2013.6.4)。[鳥取]
- 田村昭夫(2013) モンキアゲハとヒメウラナミシジミの遅い目撃記録. ゆらぎあ, No. 31, p. 50., [鳥取]

- 田村昭夫 (2013) 銀色のキンモンガを採集. ゆらぎあ, No. 31, p. 51. [鳥取]
- 田村昭夫 (2013) 自宅に来たキマダラルリツバメ. ゆらぎあ, No. 31, p. 44. / 倉吉市宮川町でのキマダラルリツバメの採集記録 (2013年). [鳥取]
- 田村昭夫 (2012) 第26回六虫会の報告. 月刊むし, No. 494, pp. 42-43. / 2011年の鳥取県日南町での六虫会の報告. [鳥取]
- 田村昭夫・源 満夫 (2013) フチグロトゲエダシヤク鳥取県の記録. ゆらぎあ, No. 31, pp. 21-22. / 鳥取県未記録だったフチグロトゲエダシヤクの倉吉市小鴨川からの記録 (2006.3.7; 2013.3.9). [鳥取]
- 田村昭夫・矢野重明 (2013) マイコトラガを採集. ゆらぎあ, No. 31, p. 49. / 鳥取県初記録となるマイコトラガ (ヤガ科) の三朝町鉛山 (2012.4.3), 倉吉市仲ノ町 (2013.4.13) での記録. [鳥取]
- 田中真史 (2013) 隠岐: 大きなウラギンヒョウモン惜敗記. SPIN-DA, 28: 115. / 2012.7.15, 隠岐・知夫里島を訪れた記録. 発見はできず. [鳥根]
- 土田浩治 (2013) ウスバシロチョウの遺伝学的な個体群構造. 昆虫と自然, 48(6): 15-18. / ウスバシロチョウの遺伝的分化の研究の紹介. 核遺伝子の情報に基づいて系統樹を描くと東日本型, 中部日本型, 西日本型に分かれる. 中部日本型と西日本型の境界が鳥取県西部 (日野川付近) に描かれている. [鳥取]
- 内田俊夫 (2013) 2012年の採集記録と確認報告. すかしば, No. 60, p. 23. / 安来市広瀬町山佐ダム付近 (2012.6.7) のヒサマツドリシジミ, 木次町西日登 (2012.6.23) のメスグロヒョウモン, 松江市古志原のキマエコノハ (2012.11.20) の記録. [鳥根]

【クモガタ類】

- 馬場友希・田中幸一 (2013) 島根県で採集されたクモ. Kishidaia (東京蜘蛛談話会誌), No. 101, p. 26. / 島根県安来市東赤江町で2012年9月27日に採集されたクモ6種の記録. ヨツボシジョウジョウグモとヒカリアシナガグモが島根県新記録. ヒカリアシナガグモは南方系のクモだが, 最近, 北上傾向がみられる. [鳥根]
- 林 成多・門脇久志 (2013) 隠岐諸島で採集したクモ類. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 8, pp. 91-93. / 昆虫調査のかたわら採集されたクモ49種の記録. カトウツケオグモ, リュウキュウアシナガグモなど. [鳥根]
- 林 成多・野嶋宏一・片岡大輔 (2013) 島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園におけるクモ類生息調査 (2011-2012年). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, pp. 103-120. / 雲南市木次町ふるさと尺の内公園からの真正クモ37科267種

の記録. 267種のうち85種が新海明ほか (2012) の「CD日本のクモ」に記録されている島根県産のクモ303種に含まれていないという. これらはほぼ島根県新記録と考えてよいと思われる. [鳥根]

- 林 成多・野嶋宏一・片岡大輔 (2014) 島根県出雲市園町宍道湖グリーンパークにおけるクモ類生息調査 (2012年). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 1-13. / 出雲市園町宍道湖グリーンパークでの2012年のクモ調査で26科129種を記録. うち, 13種は島根県内初記録. [鳥根]
- Schönhofer, A. L., McCormack, M., Tsurusaki, N., Martens, J., & Hedin, M. (2013) Molecular phylogeny of the harvestmen genus *Sabacon* (Arachnida: Opiliones: Dyspnoi) reveals multiple Eocene-Oligocene intercontinental dispersal events in the Holarctic. *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 66: 303-315. / 全北区に隔離分布するブラシザトウムシ科ブラシザトウムシ属の系統解析. 日本産はイマムラブラシザトウムシとアキヨシブラシザトウムシを使用. イマムラブラシザトウムシは, アキヨシブラシザトウムシよりも北米東部の *Sabacon mitchelli* に近い位置を占めた. イマムラブラシザトウムシは鳥取市雨滝産. [鳥取]
- Tabara, K., Kawabata, H., Arai, S., Itagaki, A., Yamauchi, T., Katayama, T., Fujita, H. & Takada, N. (2011) High incidence of rickettsiosis correlated to prevalence of *Rickettsia japonica* among *Haemaphysalis longicornis* tick. *Journal of Veterinary Medical Science*, 73: 507-510. / リケッチャ性の斑点熱風土病を島根県から報告. *Rickettsia japonica* が原因. 島根半島のシカに寄生するフタゲチマダニにこのリケッチャが高頻度に見つかるという報告. [鳥根]
- Yamauchi, T., Tabara, K., Kanamori, H., Kawabata, H., Arai, S., Katayama, T., Fujita, H., Yano, Y., Takada, N. & Itagaki, A. (2009) Tick fauna associated with sika deer density in the Shimane Peninsula, Honshu, Japan. *Medical Entomology and Zoology*, 60: 297-304. / 島根半島におけるニホンジカの分布密度に関連したマダニ相. 和文要約: 同号, 323-324 [鳥根]
- 林 成多 (2013) 隠岐諸島中ノ島で観察した淡水産十脚目甲殻類. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 8, pp. 95-96. / トゲナシヌマエビ, ヤマトヌマエビ, エナガエビ, サワガニを中ノ島から記録. [鳥根]
- 林 成多 (2013) 隠岐諸島のハマダンゴムシ (等脚目ハマダンゴムシ科) の分布について. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 8, p. 109. / 隠岐諸島から正式な記録のなかったハマダンゴムシの記録. [鳥根]

【甲殻類】

- 林 成多 (2013) 隠岐諸島の島後でワラジムシを確認. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 8, p. 74. / 隠岐諸島からの外来種ワラジムシの新記録. 島後から. [島根]
- 桑原友春 (2013) 島根県隠岐の島町で採集されたアケウス. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 8, p. 108. / クモガニ科アケウスを隠岐の島町油井で記録. 島根県新記録. [島根]
- 桑原友春・山口勝秀・中野浩史 (2013) 隠岐諸島におけるカニ類の分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 8, pp. 97-107. / 2011-2012年の調査による隠岐諸島におけるカニ類16種の分布の記録. うち4種は隠岐諸島新記録. [島根]
- 長澤和也・新田理人 (2013) 島根県江津市産ブルーギルに寄生していたヤマトニセエラジラミ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, p. 246. / 島根県江津市菰沢池から釣り上げられたブルーギルに寄生していたカイアシ類ヤマトニセエラジラミの記録. [島根]
- 田久和剛史 (2013) 中海におけるトゲノコギリガザミの記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, p. 300. / 松江市美保関町の中海で採集されたトゲノコギリガザミ. [島根]
- 山内健生・中野浩史・長澤和也 (2011) 水族館におけるチョウによるナマズへの寄生例. 陸水学雑誌, 72: 211-214.

【軟体動物】

- 岡本泰典 (2011) 海岸に漂着したルリガイしぜんくらしき, No. 87, p. 11. / 鳥取県東伯郡北栄町大谷の砂浜で2010.9.19にルリガイの貝殻を12点採集. またその主要な餌動物であるギンカクラゲの盤部の漂着も確認. [鳥取]
- 福本一彦・谷岡 浩 (2013) 鳥取県岩美町の農業用水路におけるフネドブガイの生息状況. 山陰自然史研究, No. 9, pp. 13-14. [鳥取]
- 福本一彦・谷岡 浩 (2013) 鳥取県多鯨ヶ池におけるイシガイ類の生息状況. 山陰自然史研究, No. 9, pp. 1-5. [鳥取]
- 内藤順一 (2013) ヤマトシジミとタイワンシジミが混棲. 比婆科学, No. 246, p. 25. / 2012年4月27日, 江の川河口域においてヤマトシジミとタイワンシジミの混棲を確認. タイワンシジミは海水に対して耐性がある. [島根]
- 和田年史・増田 修 (2013) 山陰沖日本海における頭足類相. 鳥取県立博物館研究報告, No. 50, pp. 1-43. / 島根・鳥取・兵庫の日本海沖合で採集された700点以上の標本に基づき18科53種の頭足類を記録. 各種のカラー写真, 詳細データ, 解説つき. うち15種は山陰沖からは未記録だったもの. ヤツデイカとトウガタイカは日本海初記録. 43ページの力作. [鳥取]

【その他の無脊椎動物】

- 岩崎敬二・久保田 信・原康弘 (2012) 久保田信所蔵標本の外来改良動物:1980年代の分布を主として. 日本生物地理学会会報, 67: 133-142. / 1980年代に採集されたイガイ類標本の検査から付着外来フジツボ, ムラサキイガイの記録などを整理. 隠岐西郷町にムラサキイガイとタテジマフジツボ (両者とも外来種) の記録がみえる. [島根]
- 幸塚久典・小郷一三 (2012) 隠岐諸島の浅海域から得られた日本海初記録のウミシダ類 (棘皮動物;ウミユリ綱). 日本生物地理学会会報, 67: 231-135. / 隠岐諸島および日本海では初記録となるウミシダ類 (棘皮動物) 3種を報告:ギスレンウミシダ, マキエダコアシウミシダ, ヒメウミシダ. [島根]
- 長澤和也・中野浩史 (2013) 宍道湖と中海におけるヒダビルの追加採集例. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 16, p. 262., 寄生性のヒダビル (ウオビル科) の松江市大海崎町の中海からの記録. [島根]
- Sato, M. (2013) Resurrection of the genus *Nectoneanthes* Imajima, 1972 (Nereididae: Polychaeta), with redescription of *Nectoneanthes oxypoda* (Marenzeller, 1879) and description of a new species, comparing them to *Neanthes succinea* (Leuckart, 1847). Journal of Natural History, 47: 1-50. / ゴカイ科Nereididae, *Nectoneanthes*属の大西洋原産の外来種アシナゴカイ*Neanthes succinea* (Leuckart, 1847) の記録に島根県中海本庄工区の標本が含まれる. 本種は汽水産. [島根]
- Yamauchi, T., Itoh, T. & Yoshigou, H. (2013) Occurrence of *Parabdella quadioculata* (Annelida: Hirudinida: Glosiphoniidae) in Japan, with a first case of human infestation by the leech. Comparative Parasitology, 80: 134-135.

■鳥取県・島根県内のタイプ産地 (2013年記載分および2006年記載分の追加)

- Cobitis minamorii saninensis* Nakajima 2013 サンインコガタスジシマドジョウ. 亜種のタイプ産地: 島根県斐伊川.
- Eupsphalerum* (s. str.) *dogoense* Watanabe & Shimada 2006 ドウゴハナムグリハネカクシ. タイプ産地: 島根県隠岐諸島 島後鷲が峰.
- Eupsphalerum* (s. str.) *insulare* Watanabe & Shimada 2006 オキハナムグリハネカクシ. タイプ産地: 島根県隠岐諸島 島後鷲が峰.